

一般質問 梅津政志議員 1項目を問う



梅津政志議員

問 町が目指そうとするグランピングとは

答 従来のキャンプより上質なサービスを提供する

問 食事の提供や入浴施設についての他施設との連携は可能か。

答 食材の提供や機材を貸し出す他、既存の入浴施設、レストラン等との連携を図る。

問 指定管理者を決定するにあたり、必要な条件は。

答 アウトドア全般の知識と、自然を生かすプログラムをコーディネートできる事業者が理想である。

問 常設するグランピングテント内に、ベッド、照明器具テーブル等を装備し、上質のサービスと料金を考えている。

答 常設するグランピングテント内に、ベッド、照明器具テーブル等を装備し、上質のサービスと料金を考えている。

問 青少年旅行村が「やまびこの森」とし、グランピングテントに一新するが、町が目指すグランピングとは。

答 常設するグランピングテント内に、ベッド、照明器具テーブル等を装備し、上質のサービスと料金を考えている。

問 オートキャンプ場や、一般のテントを張れるキャンプ場の併設は考えなかつたのか。

答 予算の関係上判断。

問 テント数は当初の計画で10張りだったが7張りに変更した理由は。

答 テントの耐久性についてしっかりと検討する、年間約1,200人の入込を見込む。

問 テントゆえに雨や、強風により施設の傷みが早く、経費の増大や労力が懸念されるが事業の採算性は。

答 テントの耐久性についてしっかりと検討する、年間約1,200人の入込を見込む。

問 テントは何人用か、また施設内のシャワー、トイレは計画内容の設備で十分対応できるのか。

答 7テントサイトを設置し1テント4名から8名が宿泊可能、管理棟内のトイレ、シャワー室で対応可能。



▲やまびこの森キャンプ場工事中

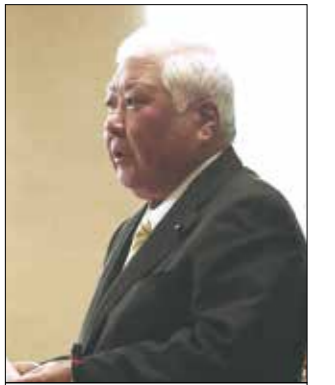
問 南蔵王エリアの整備事業が大詰めを迎えるが各施設を最大限生かす具体策は。

答 グランピングを中心として周辺の観光を楽しんでもらい既存の施設と連携を取り活性化を図る。

問 競争する施設もあり当初計画には盛り込まない、必要性、採算性を考え引き続き検討する。

答 競争する施設もあり当初計画には盛り込まない、必要性、採算性を考え引き続き検討する。

一般質問 五十嵐敏夫議員 1項目を問う



五十嵐敏夫議員

問 今後の農業対策（中山間事業・基盤整備）は

答 高齢化や担い手不足に対応した制度を検討する

問 現在までの「中山間直接支払制度」の評価をどのように捉えているか。また、次年度令和2年（第5期）事業の取組基本方針と各地区集落協定組織に臨むものにつ

平成12年度から実施している「中山間地域等直接支払制度」は、3期15年間を経て、平成27年度から「多面的機能交付金制度」を追加し、今年度で4期目が終了する。この制度は、農業従事者のみならず非農家の為にも、美しい水田や用水路の整備により、地域の人と人を緊密にし、「自分たちの故郷は自分たちが守る」との自覚と行動に繋がってきた。もしこの制度がなかったら七ヶ宿町の主幹産業の稲作又減反地の有効活用はどのようなになっていたか危惧するのは私ばかりでないと感じる。又、今まで行われた基盤整備事業により、効率的、且つ大規模経営が可能となっている現状も含め以下のようなことを伺う。

問 本年度基盤整備事業が進んでいないようであるが、何故なのか、基盤計画地権者の困惑を鑑み、現状と今後の見通しについては。

文化財調査、試掘また、未相続農地を整理し農地中間管理機構に預けるなど厳しい条件があったが、東部地区は八合分区より測量、実施設計を行い、令和2年3月発注予定です。西部地区については、令和3年度には着手予定である。

問 200haを超える農地が、集落協定構成員の尽力により、農業生産活動に取り組んでいただき、農地が守られ、集落並び町全体に及ぶ効果があった。来年度以降の取り組みは、9月下旬から各集落でヒアリングを行い、高齢化や担い手不足などの問題解決に向けた支援並びに活性化に結び付けたい。



▲集落協定用水路泥上げ作業

問 高齢化、担い手不足により農地の草刈、用水路の泥上げ等が困難になってきている現状を打開する方策として、集落単位の作業を、現在の町の作業班とは別に、町の新たな雇用形態として、地域を超えた「作業協力隊制度」を模索してはどうか。

答 第5期中山間直接支払制度に向かうに当たり、今まで各地区で行っていた農地管理を新たな組織にお願いをすることは十分考えている。各集落と協議をし、町としても設立に向けて検討したい。